



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月14日

上場会社名 株式会社識学 上場取引所 東
 コード番号 7049 URL <https://corp.shikigaku.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 広大
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 (氏名) 池浦 良祐 (TEL) 03-6821-7560
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	4,012	13.1	285	—	305	—	378	—
2024年2月期第3四半期	3,548	7.4	△144	—	△143	—	△114	—

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 343百万円(—%) 2024年2月期第3四半期 △151百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	44.18	43.92
2024年2月期第3四半期	△13.01	—

(注) 2024年2月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	4,943	3,456	48.8
2024年2月期	4,560	3,085	49.0

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 2,414百万円 2024年2月期 2,236百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—		
2025年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	9.7	307	—	323	—	393	—	46.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期3Q	9,132,996株	2024年2月期	9,132,996株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	725,001株	2024年2月期	349,101株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期3Q	8,559,276株	2024年2月期3Q	8,785,061株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くこと期待されております。一方、海外における高い金利水準の継続の国内への影響や物価上昇などが注意する要因となっております。このような当社を取り巻く環境の中、「従業員を結果で管理する」、「ルールに基づく組織運営により働く場所に関係なく結果を出す」といった組織の生産性向上を図ることに対する市場ニーズは強く、当社サービスの需要は引き続き高い状況が続いております。

当社グループは「識学を広める事で人々の持つ可能性を最大化する」という企業理念のもと、4つの事業を行っております。組織コンサルティング事業においては、コンサルタント人材の育成、コンサルタントの品質管理を徹底的に行いながら、「識学」が顧客の組織に浸透する状態を実現するべくサービス提供を行ってまいりました。スポーツエンタテインメント事業においては、2024年10月に開幕したBリーグ2024-25シーズンでB1昇格を実現するためにチーム強化への積極的な投資を行いつつ、地域密着型クラブとして認知度向上に向けたマーケティング活動やスポンサー獲得のための積極的な営業活動を行ってまいりました。VCファンド事業及びハンズオン支援ファンド事業においては、新進気鋭スタートアップ投資事業有限責任組合が新たに6社に対して出資を実施しました。このように、積極的な投資先の検討を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,012,891千円（前年同期比13.1%増）、営業利益は285,716千円（前年同期は営業損失144,311千円）、経常利益は305,573千円（前年同期は経常損失143,652千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は378,151千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失114,277千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(組織コンサルティング事業)

① マネジメントコンサルティングサービス

当第3四半期連結累計期間においては、採用済みのコンサルタント候補の育成と顧客基盤拡大のためのマーケティング活動による投資を継続してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のマネジメントコンサルティングサービス売上高は2,051,019千円（前年同期比9.2%増）となりました。

② プラットフォームサービス

当第3四半期連結累計期間においては、2020年9月よりサービス提供を開始した「識学」に基づく組織運営が“定着”するまで継続的に運用支援を行う「識学 基本サービス」の拡販に注力してまいりました。

「識学 基本サービス」には、「識学」が組織に徹底できている状態を5つの軸と6段階のフェーズに分類し、フェーズの診断を実施することで顧客が解決すべき組織課題を明確にする機能があります。この機能により明確になった組織課題に対してコンサルタントが課題解決に向けたサポートを実施することによって「識学 基本サービス」に対する顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における識学基本サービスの契約社数は670社（前連結会計年度末は699社）、識学基本サービスライト（旧識学会員）の会員数は398社（前連結会計年度末は309社）、識学クラウドの契約社数は47社（前連結会計年度末は83社）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間のプラットフォームサービス売上高は1,524,840千円（前年同期比20.5%増）となりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の組織コンサルティング事業における売上高は3,575,859千円（前年同期比13.8%増）、営業利益は428,286千円（前年同期は営業損失29,882千円）となりました。

(スポーツエンタテインメント事業)

当第3四半期連結累計期間においては、B1リーグへの昇格を目指してチームの強化を行いながら「地域密着型クラブ」として地域スポーツ振興を普及することを目的とした取り組みを行ってまいりました。当第3四半期連結会計期間においては、2024-25シーズンのスポンサー獲得に向けた営業活動及び企業版ふるさと納税のさらなる拡充に向けた地方公共団体との連携強化に努めてまいりました。2024-25シーズンに向けたスポンサーからの受注額は291,160千円(前年同期比10.4%増)と推移しており、チーム強化に向けたチーム運営費への継続的な投資を行ったことによりコストが先行することとなりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間におけるスポーツエンタテインメント事業の売上高は437,032千円(前年同期比16.3%増)、営業損失は34,485千円(前年同期は営業損失85,419千円)となりました。

(VCファンド事業)

当第3四半期連結累計期間においては、「組織力」や「成長する組織への転換」に着目した投資を行い、投資先企業への「識学」導入による組織改善によって成長を支援するベンチャーキャピタルファンドを運営し、新進気鋭スタートアップ投資事業有限責任組合は新たに6社に対して出資を実施するなど、積極的な投資を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるVCファンド事業の営業損失は102,080千円となりました。

(ハンズオン支援ファンド事業)

当第3四半期連結累計期間においては、投資先のEXIT(IPO等)によるキャピタルゲインを収益源とする「組織改善支援×金融・ファイナンス支援」という独自性を持ったハンズオン支援ファンドを運営してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるハンズオン支援ファンド事業の営業損失は6,182千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,943,219千円となり、前連結会計年度末と比較して383,192千円の増加となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産合計は、4,174,600千円となり、前連結会計年度末と比較して371,994千円の増加となりました。これは主に、営業投資有価証券の増加372,277千円があったことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産合計は、768,619千円となり、前連結会計年度末と比較して11,197千円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の減少16,241千円があった一方で、無形固定資産の増加26,905千円があったことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債合計は、1,362,654千円となり、前連結会計年度末と比較して236,891千円の増加となりました。これは主に、未払法人税等の増加172,903千円によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債合計は、124,454千円となり、前連結会計年度末と比較して224,649千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少225,333千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,456,111千円となり、前連結会計年度末と比較して370,950千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加378,151千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきましては、2024年10月11日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,353,453	2,327,130
売掛金	536,320	584,379
営業投資有価証券	643,497	1,015,774
商品	4,028	6,926
貯蔵品	1,629	1,822
前払費用	243,603	219,548
その他	30,597	26,969
貸倒引当金	△10,523	△7,950
流動資産合計	3,802,606	4,174,600
固定資産		
有形固定資産	132,749	116,507
無形固定資産	89,965	116,871
投資その他の資産		
投資有価証券	83,157	83,331
繰延税金資産	54,395	54,772
その他	397,353	397,336
貸倒引当金	△200	△200
投資その他の資産合計	534,706	535,240
固定資産合計	757,421	768,619
資産合計	4,560,027	4,943,219
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	295,476	295,452
未払金	233,715	201,043
未払費用	234,843	188,023
未払法人税等	-	172,903
賞与引当金	-	36,500
前受金	292,854	354,587
その他	68,873	114,144
流動負債合計	1,125,762	1,362,654
固定負債		
長期借入金	345,139	119,806
繰延税金負債	3,965	4,648
固定負債合計	349,104	124,454
負債合計	1,474,867	1,487,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	2,287,553	2,287,553
利益剰余金	224,707	602,859
自己株式	△290,245	△490,234
株主資本合計	2,232,015	2,410,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,201	4,493
その他の包括利益累計額合計	4,201	4,493
新株予約権	46,996	64,868
非支配株主持分	801,948	976,570
純資産合計	3,085,160	3,456,111
負債純資産合計	4,560,027	4,943,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
売上高	3,548,757	4,012,891
売上原価	991,449	1,175,700
売上総利益	2,557,307	2,837,191
販売費及び一般管理費	2,701,619	2,551,474
営業利益又は営業損失(△)	△144,311	285,716
営業外収益		
受取利息	14	193
助成金収入	2,856	14,972
保険解約返戻金	12	9
違約金収入	-	6,000
投資事業組合運用益	1,751	638
その他	5,424	8,606
営業外収益合計	10,060	30,420
営業外費用		
支払利息	4,047	3,423
株式交付費	210	358
持分法による投資損失	2,266	3,078
為替差損	377	2,805
譲渡制限付株式報酬償却	2,499	-
その他	-	897
営業外費用合計	9,401	10,563
経常利益又は経常損失(△)	△143,652	305,573
特別利益		
投資有価証券売却益	-	203,022
新株予約権戻入益	35,947	-
知的財産権譲渡益	-	10,000
特別利益合計	35,947	213,022
特別損失		
減損損失	34,022	-
特別損失合計	34,022	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△141,727	518,596
法人税等	△5,141	175,337
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△136,586	343,258
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,308	△34,892
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△114,277	378,151

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△136,586	343,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,116	579
その他の包括利益合計	△15,116	579
四半期包括利益	△151,703	343,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△119,997	378,444
非支配株主に係る四半期包括利益	△31,705	△34,606

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式375,900株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が199,988千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が490,234千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	組織コンサル ティング 事業	スポーツ エンタテイン メント 事業	VCファンド 事業	ハンズオン 支援ファン ド事業	計		
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	3,142,833	375,923	30,000	—	3,548,757	—	3,548,757
外部顧客への 売上高	3,142,833	375,923	30,000	—	3,548,757	—	3,548,757
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	136,492	—	—	136,492	△136,492	—
計	3,142,833	512,416	30,000	—	3,685,249	△136,492	3,548,757
セグメント利益 又は損失(△)	△29,882	△85,419	△38,374	△5,771	△159,447	15,135	△144,311

(注) 1. 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

組織コンサルティング事業セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの減少額は30,743千円です。

また、スポーツエンタテインメント事業セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの減少額は3,279千円です。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	組織コンサル テイング 事業	スポーツ エンタテイン メント 事業	VCファンド 事業	ハンズオン 支援ファン ド事業	計		
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	3,575,859	437,032	—	—	4,012,891	—	4,012,891
外部顧客への 売上高	3,575,859	437,032	—	—	4,012,891	—	4,012,891
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	141,676	—	—	141,676	△141,676	—
計	3,575,859	578,708	—	—	4,154,567	△141,676	4,012,891
セグメント利益 又は損失(△)	428,286	△34,485	△102,080	△6,182	285,537	179	285,716

(注) 1. 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	38,147千円	47,914千円
のれんの償却額	20,774千円	—千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。